



地域の祭りを知る

地域に受けつがれる、にぎわいの文化



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

祭りってなに？	3～4
祭りの道具と芸能	5～8
祭りのいろいろ	9～12
祭りを支える	13～15
見て・体験しよう	16～17
さらに知ろう	18～21
マナー	22
まとめとふり返り	23～25
伝えてみよう	26～28
チャレンジ	29～30

祭りってなに？

祭りは、地域の人たちが力を合わせて行う行事です。

祭りとは、地域の人たちが力を合わせて行う、伝統的な行事のことです。神様への感謝や願いをこめて行われることが多くあります。

神輿や山車、音楽、踊りなど、地域によってさまざまな形の祭りがあります。



祭り

まつり／festival

地域で行われる伝統的な行事

わっしょい

わっしょい／festival chant

神輿をかつぐときのかけ声

ポイント

- 祭りは、地域の人たちのつながりを深める役わりもあります。
- 同じ「祭り」でも、地域によって形やよび方がちがいます。

やってみよう

1. あなたの地域の祭りを1つ書いてみよう。

書いて覚えよう

祭りの由来

祭りには、それぞれ由来や意味があります。

ポイント

- 祭りの多くは、豊作や大漁への感謝、無病息災への願いから始まったといわれています。
- 自然への感謝や、季節の変わり目を祝う意味をもつ祭りもあります。
- 由来は地域によってちがいが、伝わり方もさまざまです。

Emma

祭りって、どうして始まったの？



Ken

多くは、神様への感謝やお願いから始まったといわれているよ。

やってみよう

1. 家族に、地域の祭りの由来を聞いてみよう。

書いて覚えよう

神輿・山車

祭りには、神輿や山車など、特別な乗り物があります。

神輿

みこし／portable shrine

神様が乗るとされる、かつぐための乗り物

山車

だし／festival float

かざりつけをした、引いたり押したりする山車

神輿

神様の乗り物として、かつがれて町を
まわる

山車

楽器を乗せたり、人形をかざったりする

屋台

地域によっては山車と同じ意味で使う

ポイント

- 神輿は、神様が地域をめぐるためのものといわれています。
- 山車には、地域ごとに異なるかざりや彫刻が見られます。

やってみよう

1. 神輿や山車を見たことがあれば、どんな様子だったか書いてみよう。

書いて覚えよう

祭りの音楽・祭りの踊り

祭りには、音楽や踊りがかかせません。

祭り囃子

笛や太鼓で祭りを盛り上げる音楽

和太鼓

力強い音を響かせる打楽器

笛

高くすんだ音色を出す楽器

盆踊り

夏祭りでみんなでおどる踊り

みこし太鼓

神輿の行進に合わせて打つ太鼓

地域独自の踊り

その土地に伝わる踊り

ポイント

- 祭り囃子は、地域ごとにリズムや曲がちがいます。
- 盆踊りは、だれでも輪に入って楽しめる踊りです。

やってみよう

1. 祭りで聞いたことのある音楽やお囃子がありますか。

書いて覚えよう

祭りには、それぞれの地域に伝わる衣装があります。

足袋

動きやすさと、祭りらしい華やかさを両立させた装いです。

- 法被には、町名や紋がそめられていることが多いです。
- 衣装を見ると、どの地域や団体の人か分かることもあります。

1. 祭りの衣装で気になるものを1つ書いてみよう。

一般社団法人文化芸術支援協会 | 地域の祭りを知る 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

つやつやとした見た目が人気の甘いお菓子

生地の中にたこを入れて焼いた食べ物

夏祭りで人気のひんやりしたお菓子

ふわふわとした甘いお菓子

祭りの屋台の定番料理

食べ物ではないが屋台の人気の遊び

ポイント

- 屋台は、祭りをより楽しくする大切な存在です。
- 地域によって、よく見られる屋台の種類にもちがいががあります。

やってみよう

1. 祭りで食べてみたい屋台の食べ物を1つ書いてみよう。

書いて覚えよう

日本には、特に大きく知られる祭りがいくつかあります。

- 京都・大阪・東京など、各地に古くから続く大きな祭りがあります。
- 「日本三大祭り」として、いくつかの祭りが並んで紹介されることがあります。どれを含めるかは、資料によって少しちがうこともあります。
- 大きな祭りには、長い歴史と多くの人の協力が受けつがれています。

1. 名前を知っている大きな祭りを1つ書いてみよう。

夏祭り・秋祭り

祭りには、季節ごとにちがう特色があります。

夏祭り

暑さの中にぎわう祭り

盆踊り

夏の夜にみんなでおどる

花火

夜空をいろいろ打ち上げ花火

秋祭り

実りに感謝する祭り

収穫への感謝

作物の実りを祝う

神輿や山車の巡行

地域を練り歩く

ポイント

- 夏祭りは、無病息災への願いをこめて行われることが多いです。
- 秋祭りは、その年の収穫への感謝を表すものが多いといわれています。

やってみよう

1. 夏祭りと秋祭り、どちらに行ってみたいですか。 _____

書いて覚えよう

安全のために、経験を積んだ人たちが中心となって行われます。

- 火には、けがれをはらう意味がこめられているといわれています。
- 見物するときは、係の人の指示に必ず従いましょう。

1. 火祭りについて、気になったことを1つ書いてみよう。

地域の小さな祭り

大きな祭りだけでなく、身近な小さな祭りもあります。

ポイント

- 町内会や小さな神社で行われる、地域だけの祭りもたくさんあります。
- 規模は小さくても、地域の人たちの結びつきを支える大切な行事です。
- 自分の住む地域にも、知らない祭りがあるかもしれません。

やってみよう

1. 自分の住む地域にある祭りを、家族に聞いて書いてみよう。

書いて覚えよう

祭りの準備・祭りを支える人たち

祭りは、多くの人の準備と協力によって行われています。

祭りの準備

道具の手入れ

神輿や山車を整える

衣装の準備

法被や小物をそろえる

練習

音楽や踊りの練習をする

支える人たち

町内会

祭り全体を運営する

お囃子の担い手

音楽を演奏する

警備の人

安全を見守る

ポイント

- 祭りは、何か月も前から準備が始まることもあります。
- 多くの人が役割を分担して、一つの祭りをつくり上げています。

やってみよう

1. 祭りを支える人にお礼を言うなら、何と伝えたいですか。

書いて覚えよう

子どもの役割・祭りの継承

祭りは、次の世代へと受けつがれていきます。

ポイント

- 子どもみこしや子ども太鼓など、子どもが参加できる役わりもあります。
- 祭りを見て育つことで、自然と祭りの魅力が伝わっていきます。
- 担い手の減少が課題になっている地域もあり、参加を呼びかける取り組みもあります。



Ken

小さいころから、子どもみこしをかついできたよ。

Emma

そうやって、祭りが受けつがれていくんだね。



やってみよう

1. 祭りを続けていくために、自分にできそうなことを1つ考えてみよう。

書いて覚えよう

祭りのマナー・祭りに参加しよう

祭りを楽しむときのマナーを知り、参加してみましょう。

ポイント

- 神輿や山車の近くでは、係の人の指示をよく聞きましょう。
- 混雑する場所では、周りの人への配慮を忘れないようにしましょう。
- ごみは持ち帰るなど、会場をきれいに保つことも大切です。

やってみよう

1. 祭りに参加するなら、どんな役わりをやってみたいですか。

ワンポイント 火や人ごみの多い場所では、大人といっしょに、安全に気をつけて楽しみましょう。

書いて覚えよう

写真や実物を通して、祭りの様子を思いうかべてみましょう。

16

体験してみよう

実際に祭りにふれると、もっと理解が深まります。

やってみよう

地域の祭りに行く

お囃子を聞いてみる

屋台の手伝いを見る

祭りの写真を撮る

遠くの祭りでなくても、身近な祭りから始められます。

ポイント

- 実際にその場に行くと、写真だけでは分からない音や熱気を感じられます。
- 人ごみの中では、大人といっしょに、はぐれないよう気をつけましょう。

やってみよう

1. この中から1つえらんで、実際に体験してみよう。

書いて覚えよう

地域によるちがい

祭りは、地域によって形も意味もさまざまです。

ポイント

- 神輿を中心にする祭り、山車を中心にする祭りなど、地域によって形がちがいます。
- 北海道や東北、沖縄など、それぞれの気候や歴史に合った祭りが受けつがれています。
- 「祭り＝こういうもの」と決めつけず、地域ごとの個性を大切にしましょう。

やってみよう

1. あなたの地域ならではの祭りの特色を1つ書いてみよう。

書いて覚えよう

昔と今をくらべよう

祭りの形は、時代とともに少しずつ変わってきました。

普

地域総出で行う祭り

近所総出で準備

多くの人手で支えた

夜通し行うことも

時間をかけて行う

今

安全と伝統を両立させる今

安全対策の強化

警備や交通整理を行う

映像での記録・発信

多くの人に伝える

ポイント

- 形は変わっても、地域で祝い、感謝する気持ちは受けつがれています。

やってみよう

1. 家族に、昔と今で祭りがどう変わったか聞いてみよう。

書いて覚えよう

1. Q. 祭りにはだれでも参加できる？→ A. 多くの祭りは、地域の人であれば見物や参加ができます。
2. Q. 神輿はなぜ揺らしながらかつぐ？→ A. 神様の力を高めるためともいわれていますが、由来には諸説あります。
3. Q. 祭りの日はどう決まる？→ A. 昔からの決まった日や、季節の行事に合わせて決められています。

- 分からないことは、地域の詳しい人に聞いてみるのもよい方法です。

書いて覚えよう

マナーと注意点

祭りを楽しむとき、気をつけたいことがあります。

ポイント

- 神輿や山車の通り道には、勝手に入らないようにしましょう。
- 写真や動画をとるときは、撮影してよい場所かを確認しましょう。
- 人ごみでは、小さな子どもやお年寄りへの配慮を忘れないようにしましょう。

ワンポイント 分からないマナーがあるときは、まわりの人を見てまねたり、係の人にたずねたりすると安心です。

やってみよう

1. 祭りに行くときに気をつけたいことを1つ書いてみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材に出てきたことばを確認しよう。

祭りの道具

☐ 神輿

神様が乗るとされる乗り物

☐ 山車

かざりつけをした乗り物

☐ 法被

祭りでよく着るそろいの上着

祭りの音と動き

☐ 祭り囃子

笛や太鼓で盛り上げる音楽

☐ 盆踊り

夏祭りでみんなでおどる踊り

☐ わっしょい

神輿をかつぐときのかけ声

ワンポイント 覚えたことばに✓をつけよう。ことばを知ると、祭りがもっと身近に感じられます。

書いて覚えよう

書いて覚えよう

①「地域の祭りって〇〇なんだって」と伝える→②自分が気になったことを話す→③相手の考えも聞いてみる

Matsuri

地域で行われる伝統的な行事

portable shrine

神様が乗るとされる、かつぐための乗り物

Emma

The festival music and the crowd made me so excited!

祭りの音楽と人ばかりで、すごくわくわくしたよ！



Ken

I'm glad you enjoyed our local matsuri!

地元の祭りを楽しんでもらえてうれしいな！

1. 好きな祭りの様子を1つ、短い英語で紹介してみよう。

書いて覚えよう

調べる方法

地域の掲示板で

祭りの日程を調べる

図書館で

地域の祭りの歴史を知る

実際に足を運ぶ

自分の目で確かめる

次に学びたいテーマ

年中行事

1年を通した行事のひみつ

おもてなし

人をもてなす心とふるまい

日本のデザイン

身のまわりの美意識

ポイント

- この教材の次は「日本文化を英語で紹介」。学んだ日本文化を、さらに英語で伝える力を高めていきます。

書いて覚えよう

地域の祭りを知るチャレンジ

身近な地域からも、祭りの文化はすぐに見つけられます。

調べよう

自分の地域の**祭り**について調べる

行ってみよう

地域の祭りに**家族や友だち**と行く

伝えよう

祭りで感じたことを**言葉**にして伝える

こたえ

L28 神輿→イ 山車→ウ 祭り囃子→オ 法被→ア 盆踊り→エ 2. 神輿 / 法被 / 祭り囃子

L33 (例) 地域の人たちが力を合わせ、感謝や願いをこめて行う伝統行事。

書いて覚えよう

地域の祭りを知る (Season 10 | No.97)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。